



大戸小だより

URL:<http://oto-e.saitama-city.ed.jp/>

開校148年 学校教育目標 ○かしく ○やさしく ○たくましく

令和3年1月7日
学校だより1月号
さいたま市立大戸小学校
☎831-3796
明治6年開校

新年あけましておめでとうございます。

校長 長島 クミ子

新年あけましておめでとうございます。新しい年がスタートしました。今年はどうな一年になるのでしょうか。コロナ禍ですが、みなさんの力で幸せな一年にしていきたいと思います。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止の一年で、新しい生活様式のもと、3密をさけながらの生活でした。残念ながら今年もまだまだ続きそうです。このような生活の中で、私たちはどう生きるかが大切なことだと感じています。以前、発表会で谷川俊太郎さんの「生きる」という詩を朗読した学校がありました。少し長い詩ですが、子どもたちが一生懸命に暗記し、それぞれの部分を交代で心をこめて読み上げ、発表していた詩（中略）を紹介します。

『生きる』 谷川俊太郎

生きているということ
いま生きているということ
それはのどがかわくということ
木もれ陽がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみをする
あなたと手をつなぐこと
(中略)
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ

(出典:「地球へのピクニック」教育出版センター 1991年10月5日重版発行
谷川俊太郎詩/長新太絵)



何気ない日常の中にこそ、生きていることのすべてがあると感じる詩です。非日常と言われた昨年の生活が日常になりつつある今、図書館で全文を読んで、今生きていることの幸せを感じながら、「生きる」について考えてみてください。

新型コロナウイルスで生活様式が変わりました。しかし、その中でも「できること」をポジティブに考えて生きていくことが大切なのではないのでしょうか。以前とくらべると「できな

い」ことが多くなり、くよくよとネガティブに考えてしまうこともあります。そうではなく、顔を上にあげ、ポジティブに生活することが幸せにつながっていきます。これからの未来を生きるみなさん、この状況をプラスにとらえ、人と人とがよりよく生きるためにはどうしたらよいかを考え、自分の夢に向かって一步一步成長してほしいと思います。

最後に、新型コロナウイルス感染拡大防止と新校舎の工事の関係でみなさんには不自由をかけますが、何事もプラスにとらえ、3学期も「笑顔あふれる大戸小」をめざして、元気なあいさつ、明るい笑顔を心がけ、仲間と日々の生活を大事にしていきたいと思います。みなさんの活躍を3学期も楽しみにしています。



【保護者の皆様、地域の皆様へ】

新年明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応や通学路の対応、そして、ヒマラヤスギの伐採、新校舎工事の対応等、これまでにない様々な対応でしたが、ご理解とご協力をいただきましたことを心より感謝しております。本当にありがとうございました。今年も新型コロナウイルス感染症対策が続きます。さらには文部科学省のGIGAスクール構想の実現にむけて一人1台のタブレット端末の導入が始まります。これまでに経験したことのない対応もあり、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、教職員一同、日々、子どもたちのよりよい成長を第一に考え、今年も精一杯努力を続けてまいります。今年もご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。